

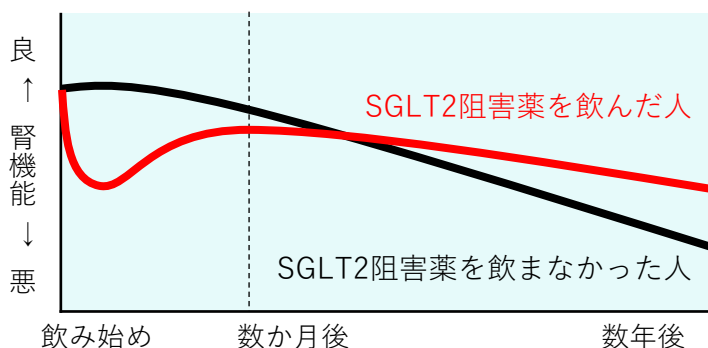
その他の注意事項

● 体重への影響

- ✓ SGLT2阻害薬を飲むと体重が減少することがあります。体重測定を習慣化しましょう。
- ✓ **高齢者や痩せている人は特に注意が必要です。**
- ✓ 過度に体重が減ったときや気になる症状があるときは、医師や薬剤師に相談しましょう。
- ✓ 糖尿病の患者さんは、体重が減少しても自己判断で食事の量を増やさず、食事療法を続けましょう。
- ✓ 筋力・筋肉量の向上のために、普段からレジスタンス運動（かかと上げ運動、足上げ運動、スクワットなどの、筋肉に負荷をかける動作を繰り返しおこなう運動）を心がけましょう。



● 腎機能への影響



- ✓ SGLT2阻害薬を飲み始めると、腎機能（eGFR：推算糸球体濾過量）が一時的に低下することがあります。
- ✓ 薬の作用によるものであり、過度に心配する必要はありません。
- ✓ 長期に継続することで、**腎機能の低下を遅らせる効果**が期待できます。

● 検査への影響

- ✓ SGLT2阻害薬は尿中の糖を増加させる作用があるため、尿検査で尿糖が陽性になります。
- ✓ SGLT2阻害薬の服用を中止してもしばらくは尿糖の陽性が持続します。
- ✓ 1,5-AG 検査（血糖変動の指標）では通常より低値になるため、正しい評価ができません。

● 手術への影響

- ✓ 手術のために食事を摂取できない場合、手術前にSGLT2阻害薬を一時休薬することがあります。
- ✓ **手術の予定がある人は、本剤服用中であることを医師にお伝えください。**
- ✓ 手術の前後は血糖値が変動することがあり、厳密な管理が必要です。医師の指示通りに服用してください。